

# 令和6年度小学校教科教育推進研修（国語科）研修成果物（指導について）

指導者 Cグループ 廿日市市立大野東小学校 佐伯 祐輔  
指導学年 第2学年4組 29名

## 1 単元名及び教材名

どうぶつのひみつをしょうかいしよう

「ビーバーの大工事」（東京書籍「新編 新しい国語 二下」）

## 2 児童観

本学級の児童は、「読むこと（説明的な文章）」の領域に関わる学習について、昨年度実施した標準学力調査の結果は以下の通りだった。

| 内容項目                                   | 到達率   |
|--|-------|
| 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。             | 75.0% |
| 情報と情報との関係について理解し、文章の中の重要な語を考えて選び出している。 | 65.3% |

「内容の大体を捉えること」が苦手な児童が多く、学級全体に目標とした力が備わっていない。特に、問題文で問われている意味が分からない状態で回答している児童も多いことが課題である。また、前学期に学習した説明的な文章「たんぽぽ」では、読み取ったことに対する感想として「～がすごかったです。」「～がすごかったです。」「～におどろきました。」は書けているが、そう思った理由が具体的に書けていない児童が多い。

## 3 指導観

第一次では、知っている動物の体の特徴やビーバーについて知っていることを話し合わせるなどして、様々な生き物の特徴について興味をもたせる。また、動物の秘密をまとめたリーフレットを掲示することによって、児童に「動物の秘密をまとめたい。」「もっと知りたい」という興味をもたせ、「動物の秘密を調べて1年生に紹介しよう」という本単元の学習活動のゴールを提示する。動物の秘密をまとめるために、教材文で紹介されているビーバーの秘密をまとめることを児童に伝え、単元の見通しを全体で共有する。

第二次では、教材文を読み、文章全体を「木を切って運ぶ」「ダムを作る」「巣をつくる」という3つのまとまりに分けさせる。その際、文章と写真を照応させながら、ビーバーがしていることの順序を確認していく。また、繰り返し出てくるキーワードにも目を向けさせる。教材文から見いだしたビーバーの秘密をまとめる際には、写真と本文を結び付けたり、擬音語と擬態語に注目させたりすることで、ビーバーが実際にどのように木を切ったり、ダムを作ったりしているのか具体的にイメージしやすいようにする。

まとめた秘密について自分の考えを伝える活動では、「文章の内容と自分の体験とを結び付ける」ことを意識させる。その際に、「自分の体験を結び付ける」ことで、見つけたビーバーの秘密がより相手に具体的に伝えられるようになることを確認する。

また、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつことができるよう、①文章の内容、②自分の体験、③①と②を結び付けて解釈し、理解を深めたこと、④文章の内容に対する思いという4つの記入欄を設けることで、どの順序で書けばよいか分かりやすくする。その際には、「引き出す→整理する→まとめる」を意識させて授業を展開する。児童の思いを「引き出す」際には、毎時間、余白に驚いたことやすごいだと思ったことを1枚物教材に線を入れて書き溜めさせ、自分が見つけた秘密をまとめる際に活用できるようにする。その際、「自分だったら～」「～を知っている」「～を聞いたことがある」等の体験を基に書かせるようにする。「整理する」際は、友達との交流を通して、自分が一番伝えたいことを明確にしたり、やりとりをする中で、自分の体験をより具体的なものにさせたりしていく。「まとめる」際には、モデル文を示すことで、どう書けばいいのか、具体的なイメージをもたせる。

第三次では、動物に関する本を読み、調べたことを紹介する活動を行う。動物の秘密をまとめる活動では、第二次と同様に、「文章の内容と自分の体験とを結び付ける」ことを意識させる。自分の体験と結び付けることが難しい児童には、ビーバーなど自分の知っている動物と比べてその動物の秘密を書いてもよいことを伝える。また、あらかじめ、多くの図書を読ませておき、第一次の時点でどの動物について紹介するかを決めさせることで、見通しをもって学習が行えるようにする。

## 4 指導と評価の計画（全19時間）

| 次 | 時          | 学 習 内 容   | 評 価 |   |   |  |
|---|------------|---|-----|---|---|--|
|   |            |   | 知   | 思 | 主 | 評価規準・評価方法 等  |
| 一 | 1          | ○学習の見通しをもつ。<br>・知っている動物の体の特徴を話し合う。<br>・「ビーバーの大工事」を読んで感想を書く。   |     |   |   |  |
|   | 2          | ○単元のゴールを確認・共有する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">どうぶつのひみつをしらべて、1年生にしようかいしよう。</div> |     |   |   |  |
| 二 | 3          | ◎「ビーバーの大工事」を読み、ビーバーの秘密を調べる。   | ○   |   |   | [知識・技能①]<br><u>ビーバーの秘密プリント</u><br>・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。   |
|   | 4          | ○文章全体を3つに分ける。(木を切って運ぶ、ダムを作る、巣を作る)   |     |   |   |  |
|   | 5          | ○木を切って運ぶ順序を読み取り、ビーバーの秘密をまとめる。   |     |   |   |  |
|   | 6          |   |     |   |   |  |
|   | 7          | ○ダムを作る順序を読み取り、ビーバーの秘密をまとめる。   |     |   |   |  |
|   | 8          |   |     |   |   |  |
|   | 9          | ○巣を作る順序を読み取り、ビーバーの秘密をまとめる。  |     |   |   |  |
|   | 10         |   |     |   |   |  |
|   | 11<br>(本時) | ○教材文の内容と自分の体験とを結び付けることで、理解を深め、文章の内容に対する感想をまとめる。   | ○   |   |   | [思考・判断・表現②]<br><u>ビーバーの秘密プリント</u><br>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付け、感想をもっている。<br><br>○ [主体的に学習に取り組む態度①]<br><u>児童の様子・ビーバーの秘密プリント</u><br>・進んで、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。<br>※2観点とも、ここでは指導に生かす評価に留め、記録に残す評価は第三次で行う。 |

|   |  |  |   |   |
|---|--|--|---|---|
| 三 | <p>◎動物に関する本を読み、調べたことを紹介する。</p> <p>12 ○自分が調べたい動物に関する情報を集</p> <p>13 める。(読書)</p> <p>14 ○自分が調べたい動物に関する情報をビー</p> <p>15 バーの秘密プリントにまとめる。まと</p> <p>16 めた内容と自分との体験を結び付け</p> <p>17 る。結び付けて解釈し、理解を深めたこと、文章の内容に対する感想をまとめる。</p> <p>18 ○単元を振り返り、お互いの秘密カード</p> <p>19 について感想を伝え合ったりする。</p> |  | ○ | <p>[思考・判断・表現②]</p> <p><u>ビーバーの秘密プリント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付け、感想をもっている。</li> </ul> <p>○ [主体的に学習に取り組む態度②]</p> <p><u>児童の様子・ビーバーの秘密プリント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。</li> </ul> |
|---|--|--|---|---|

5 本時の学習

(1) 本時の目標

見つけたビーバーの秘密と、自分の体験とを結び付けて感想をもつことができる。

(2) 学習の展開

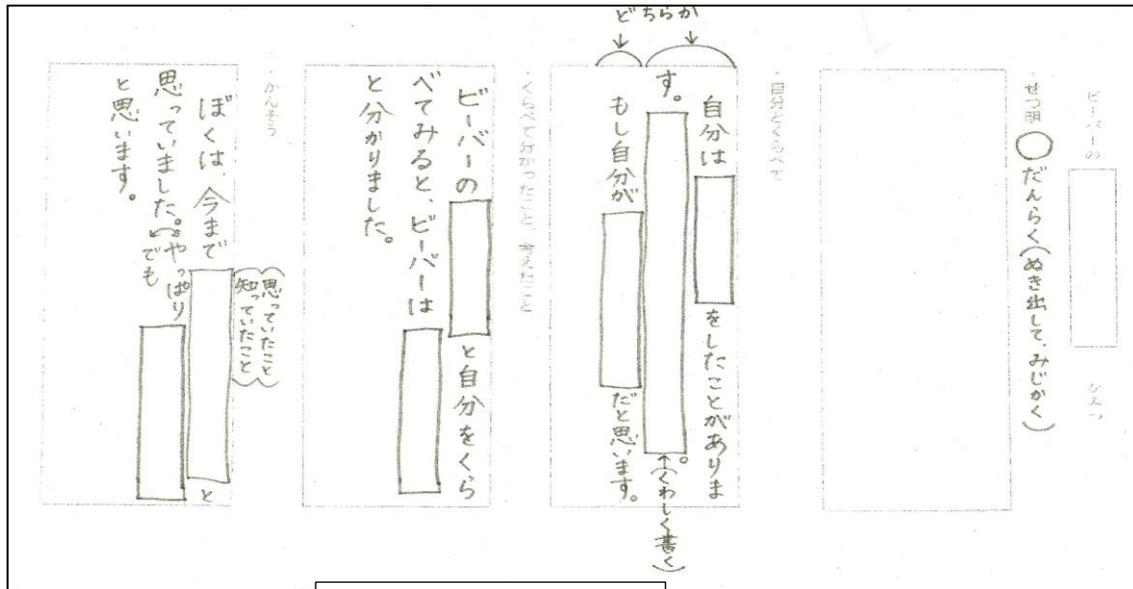
| 学習活動  | <p>○指導上の留意点<br/>□主な発問<br/>・予想される児童の反応</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>   | 評価規準<br>(評価方法)                    |
|---|---|-----------------------------------|
| <p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 一番おどろいたと思った秘密を交流する。また、自分の体験を交流する。</p> | <p>□：ビーバーの秘密は、どんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木を切りたおすときに、上あごのはを木のみきに当ててささえにし、下あごのすどい歯で、ぐいぐいとかじっていることです。</li> <li>・ゆびとゆびの間にじょうぶな水かきがある後ろあしで、ぐいぐいと体をおしすすめることです。おは、オールのような形をしていて、上手にかじをとることです。</li> <li>・いちどもぐったビーバーは、ふつうで五分間、長いときには一五分間も水の中にいることです。</li> <li>・夕方から夜中まで、家ぞくそう出で、しごとをつづけていることです。</li> <li>・みずうみの中に、てきにおそわれないあんぜんなすを作ることです</li> </ul> <p>◆掲示物を確認させることで、前時までの学習を想起できるようにする。</p> <p>□ビーバーの秘密でいちばんおどろいたところを隣の人と話しましょう。また、自分の体験を話しましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【対話の際のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと、同じところや違うところに気付く。</li> <li>・もっと知りたいと思ったことを聞く。(いつ?どこで?なんで?)</li> </ul> </div> <p>○交流する際の視点を明確に示す。<br/>○何について交流するかを明確に示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【交流する内容】(例)</p> <p>○一番おどろいたと思った秘密や自分の体験を交流する。</p> <p>C 1 ; 一番驚いた秘密は何ですか。</p> <p>C 2 : ~です。</p> <p>C 1 : どうしてですか。</p> <p>C 2 : ~だからです。(自分の体験を入れる。)</p> </div> <p>○人によって一番驚いた秘密や体験が異なっていることに気付かせ、自分が思うビーバーのすごさをより具体的に友達に伝えようという意欲付けをする。</p> |                                   |
| <p>3 本時のめあてを確認する</p>  | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>㊟ビーバーのひみつを自分の体けんとむすびつけてかんそうをもとう。</p> </div>  |                                   |
| <p>4 自分の生活を振り返り、体験と文章を結び付けて感</p>                                  | <p>□ビーバーの秘密プリント①に、ビーバーのいちばんおどろいたと思ったひみつを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夕方から夜中まで、家ぞくそう出で、しごとをつづけていることです。</li> </ul>   | <p>〔思考・判断・表現〕<br/>ビーバーの秘密プリント</p> |

|                |  |  |
|----------------|--|--|
| <p>想をまとめる。</p> | <p>□ビーバーの秘密プリント②に、自分や、まわりの人がやっていること、知っていることを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの家では、お父さんとお母さんがはたらいています。夕方には家に帰っています。子どもは、はたらきません。</li> </ul> <p>□ビーバーの秘密プリント③に、ビーバーと自分たちを比べて同じところやちがうところ、考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーバーは夕方から夜中まで家族そう出ではたらいているけど、ぼくの家ではお父さんとお母さんが朝から夕方まではたらいています。ビーバーもぼくの親も、家族のためにはたらいています。</li> </ul> <p>□ビーバーの秘密プリント④に感想を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、今までビーバーはかわいいどうぶつだと思っていました。でも、家ぞくそう出で、夜中まではたらいて、とても家ぞく思いだということが分かりました。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を想起しにくい児童には、ビーバーについてまとめた掲示物を見せて、その中から選ぶことができるようにする。</li> </ul> <p>◆①と関連付かないことを書く児童には、個別に児童自身の知識や経験を尋ねる。</p> <p>○できあがった人同士でお互いの秘密プリントを読み合い、感想を伝え合ったり、質問をし合ったりして、自分の文章をよりよいものにさせる。</p> <p>○感想をまとめていく過程で、友達と自由に交流したり、自分の気付きや思いを広げたり、深めたりするために、関連する動画を見たりする等、児童が自らの学び方を自己選択・自己決定できるよう場の工夫をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付け、感想をもっている。</li> </ul> <p>[主体的に学習に取り組む態度①]</p> <p><u>児童の様子・ビーバーの秘密プリント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。</li> </ul> <p>※2観点とも、ここでは指導に生かす評価に留め、記録に残す評価は第三次で行う。</p> |
|----------------|--|--|

(3) 板書計画

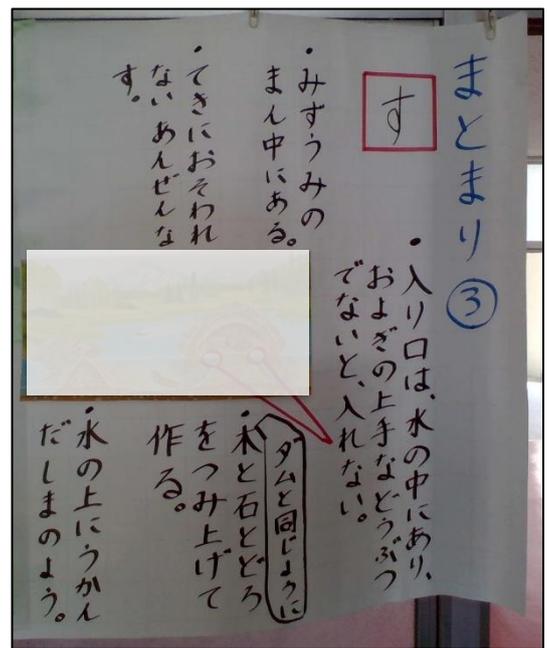
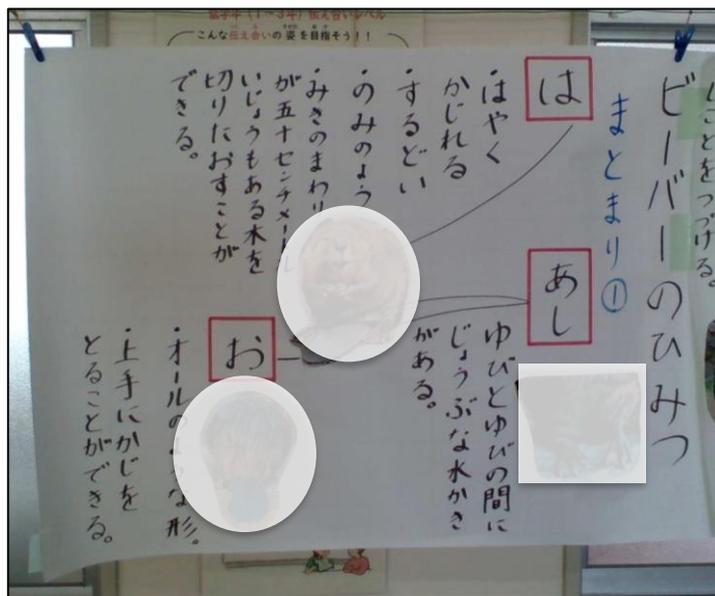
|   |   |      |   |      |     |    |   |     |   |  |  |
|---|---|------|---|------|-----|----|---|-----|---|--|--|
| <p>① 文章の内容<br/>         ビーバーは、夕方から夜中まで、家ぞくそう出で、しごとをつづけています。</p> <p>② 自分とくらべる<br/>         ぼくのいえでは、お父さんとお母さんがはたらいています。夕方には家に帰っています。子どもは、はたらきません。</p> <p>③ くらべてわかったこと<br/>         ビーバーは夕方から夜中まで家ぞくそう出ではたらいているけど、ぼくの家ではお父さんとお母さんが朝から夕方まではたらいています。ビーバーもぼくの親も、家ぞくのためにはたらいています。</p> <p>④ かんそう<br/>         ぼくは、今までビーバーはかわいいどうぶつだと思っていました。でも、家ぞくそう出で、夜中まではたらいていて、とても家ぞく思いだということが分かりました。</p> | <table border="1"> <tr> <td>ダム</td> <td>お</td> <td>のひみつ</td> </tr> <tr> <td>家ぞく</td> <td>あし</td> <td>す</td> </tr> <tr> <td>もぐる</td> <td>は</td> <td></td> </tr> </table> | ダム   | お | のひみつ | 家ぞく | あし | す | もぐる | は |  | <p>ビーバーの大工事</p> <p>ながかわ しろう</p> <p>④ビーバーのひみつを自分の体けんとむすびつけて、かんそうを書こう。</p> |
| ダム  | お   | のひみつ |   |      |     |    |   |     |   |  |  |
| 家ぞく   | あし  | す    |   |      |     |    |   |     |   |  |  |
| もぐる   | は   |      |   |      |     |    |   |     |   |  |  |



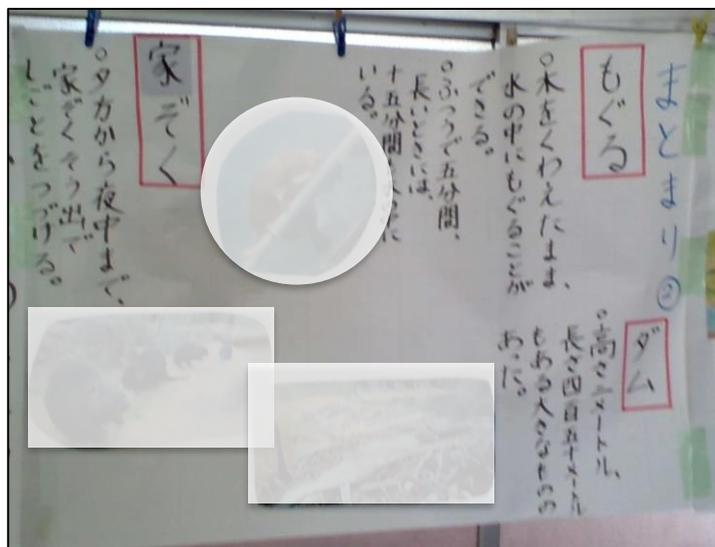


穴埋め式のワークシート

- 文章のまとまりごとにビーバーの秘密をまとめた掲示物を作成し、児童が学習内容をふりかえることができるようにした。



文章のまとまりごとにビーバーの秘密をまとめた掲示物





7 評価の実際

(1) 評価の具体

「おおむね満足できる」状況 (B)

「文章の内容」「自分の体験」「これら2つを結び付けて深めた理解」「文章の内容に対する思い」の4つを書いている。

①せつ明 (教科書にある言葉をみじかしたり、くみあわせたりする。)

ビーバーのおはオルのよつば丹をいし  
いし手にがじをとります。

②自分とくらべる (似たようなことをした。)

わたしはおかないので上手にはかよげせ  
ん。

③くらべて分かったこと、考えたこと (ビーバーと自分とくらべて、  
ビーバーはいつ、どのようなことが  
分かったか。)

おがっているのがはじめて分かりました。

④かんそう (今、ビーバーのことをどう思ったか、  
どう感じたか、どのようにかわったか。)

わたしは今までかわい、いって、ぶつて、でも、いま  
た、でも、おがオルのよつば丹をいして、上手  
にがじをとれることがわかりました。

この児童は、「文章の内容」「自分の体験」「これら2つを結び付けて深めた理解」「文章の内容に対する思い」の4つが書けているので「おおむね満足できる」状況 (B) とした。

①せつ明 (教科書にある言葉をみじかしたり、くみあわせたりする。)

ビーバーのもぐる

「でもぐつたビーバーは、  
ぶついで五分間長いときには  
十五分間も水の中にいる。

②自分とくらべる (似たようなことをした。)

自分はいふついで2分間なが  
いとぎに20分間しかもぐ  
れない。

③くらべて分かったこと、考えたこと (ビーバーと自分とくらべて、  
ビーバーはいつ、どのようなことが  
分かったか。)

ビーバーのもぐる時間と自分の  
もぐる時間をくらべてみて、  
ビーバーは、ぶついで五分間  
長いときには十五分間も、もぐれて、けこつ  
長くとぎに十五分間も、もぐれて、けこつ

④かんそう (今、ビーバーのことをどう思ったか、  
どう感じたか、どのようにかわったか。)

はくは、今までかわいくて、あまりも  
ぐれない、いづつぶつだと思つていま  
でも、長くて十五分間ももぐれて  
けこつてもぐれるなと思ひいま  
した。

④かんそうに  
「長くて15分  
間ももぐれて、  
家ぞくそう出で  
しごとをして、  
ダムを作るなん  
てすごいと思ひ  
ました。」とい  
う記述があれば  
「十分満足でき  
る」状況 (A)  
とした

この児童は、「文章の内容」「自分の体験」「これら2つを結び付けて深めた理解」「文章の内容に対する思い」の4つが書けているが、自分の体験と結び付けて文章全体の感想をもっている。さらに疑問や知りたい点などを見出していないので「おおむね満足できる」状況 (B) とした。

「十分満足できる」状況 (A)

「おおむね満足できる」状況 (B) とした基準に加えて、自分の体験と結び付けて文章全体の感想をもっている。または、さらに疑問や知りたい点などを見出している児童。

※本単元では見られなかった。

「努力を要する」状況（C）

「おおむね満足できる」状況（B）の基準とした4つの内容が書けていない児童や、「文章の内容」と「自分の体験」を結び付けた記述ができていない児童。

## （2）児童の評価

本単元を終えて、「『読むこと』において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C（1）オ）」における「十分満足できる」状況（A）の児童は0人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は25人、「努力を要する」状況（C）の児童は4人だった。

## 8 成果と課題

### （1）成果

- ・単元を通して「自分の体験と結び付けて感想を書く」活動を行い、単元の終末には多くの児童が「自分の体験と結び付けて感想を書く」ことができるようになった。
- ・毎時間、一枚物教材に自分が見つけたビーバーの秘密に線を入れ、自分の体験や気付いたことを書き留めさせることで、本時の学習で一番驚いたビーバーの秘密をまとめる際に役立った。
- ・3種類のワークシートを用意したことで、児童が自分に合ったものを選び、秘密をまとめることができた。

### （2）課題

- ・本時で書く内容（①～④）が多く、最後まで書くことができない児童がいた。
- ・児童が秘密をまとめることを意識し過ぎており、相手意識が薄れていた。また、何のために学習しているのか見落としている児童もいた。
- ・教師が自分の体験と文章の内容を結び付けて感想をもち、それを書く活動のよさを児童に十分に実感させることができなかった
- ・評価が曖昧になってしまった。どの程度思考したり表現したりすることができていたら「十分満足できる」状況（A）になるかを十分に考えて、授業に入る必要があった。

### （3）今後に向けて

- ・児童が体験と文章の内容を結び付けた感想を書くことのよさを実感できていなかったため、「～がすごい」だけでは伝わらないビーバーの魅力が、体験や比較することでより具体的に相手に伝わるということを、児童に理解させる必要があった。そうすることで、児童がもっと進んで書くことができたと思う。
- ・児童の日頃の実態やレディネステストを見て、単元計画を練る必要がある。また、本時に至るまでの児童の実態や本時の児童の様子から学習内容や指導の変更もあり得ると想定しておく必要がある。
- ・評価規準を明確にして授業に取り組む必要がある。どの程度まで思考したり表現したりできたら「十分満足できる」状況（A）になるか、「十分満足できる」状況（A）に引き上げるためにどのような手立てを講じればよいかを考える必要がある。